

# 全員協議会

平成22年10月7日

## 統合文教施設設計プロポーザル実施要項について

プロポーザル方式の概要とこの方式による一次審査、二次審査ヒアリングを経て、最的業者と次点業者を決定する。現地視察会、質問方法等の他とたたき台になる事務局配置図2案を提示する。

※プロポーザルは技術力や経験、体制などを含めた提案書の提出を求め、公正に評価して設計書を選ぶ方式

### 主な質疑

- Q: この工事に係る総予算38億円に既存建物の解体費が含まれているのか。
- A: 解体費は含めて、38億円以内としているが、統合後の各小学校の解体費は含まれていない。
- Q: 参加資格要件からすると地元には統括責任者が

過去10年間に6,000㎡以上の学校設計の実績を有することはないとと思われるが、大手の業者を想定しているのか。

- A: 6,500㎡程度を想定して過去において6,000㎡の実績が要すると町内業者の単体での契約は困難であり、協力業者となることを想定している。
- Q: 議会からの意見を聞く機会はあるか。解体工事での道路の進入路を含めた道路計画の内容と関連した校舎配置について。
- A: 話できる段階にきたら丁寧に説明したい。特定財源を想定した道路を事務局で検討している。近々に決定するが建物の配置には、道路配置が左右される。
- Q: プロポーザルは独自のアイデアが反映させるべきものである。条件にプ

ールを入れるべきだ。それと検討委員会で議論されているものとの整合性をどう図るべきか。また、審査委員を公募による2名を加え広く意見を取り入れるようできないか。

- A: 屋内プール問題の一番のネックは総体事業費である。具体的な案を詰めていく中で一緒に可能であるならば業者との協議もあり得る。プロポーザルには2カ月要する。作業は平行して行う契約後(年度内)委員会の方向性を取入れることは可能。委員会のメンバーに一般公募の委員もいるのでこのメンバーで進めたい。
- Q: プロポーザルの中で保育園が参考図中に入っていない。統合校舎の中に保育園は入らないとしていいの。概算値の中で校舎が6,500㎡に増えると3億円増えるが総体が38億円のままとは、どういうことか。
- A: この配置図は学校だけの教育分科会での意見に

よるものである。保育分科会では議論がそこまで至っていないかった。総額38億円には、備品の購入、学校の移転費用、設計・監理費用は含まれていない。

- Q: 防災基地の規模はどのくらいか。また、プールの福島で説明を受けた覚えがある。
- A: 防災基地として町の大きな避難所として防災用品の保管庫を備えたい。プールの財源が確保できれば建てたい。提案ならいいのではないかと。

平成22年12月14日

## 統合型文教施設設計プロポーザルの最終結果について

公募型設計プロポーザルを募集した結果、県内2社、県外13社の応募があり、一次に書類審査の結果5社を選考、12月3日に公開ヒアリングの結果、最も適した提案者1社と次点の1社に決定した。また、文教施設整備委員会の各分科会の取

りまとめを2月上旬から3月上旬を考えている。26年度に開校を目指すとなると、23年度には旧湯沢高校校舎の解体、24年度に本体工事の着工を考えている。

- 久米設計統括責任者の説明  
湯沢の子供達の「みんなの家」を作るというのが主なテーマである。季節を利用した豊かさを感じる家。5つの広場の中には出会いの広場、地域交流の広場等を設け、窓外には雄大な湯沢の自然がみられ、広い階段が客席に利用してイベントに活用する。いろりを囲んだ高齢者との交流などを考えた校舎を作りたい。

### 主な質疑

- Q: 住民の中には浸透しきれていない。町民への周知と丁寧な説明が必要だがどう考えているのか。
- A: 3月議会に説明。町民の皆様には報告してパブリックコメントの作業を進めるつもりだ。
- Q: 郡山市の湖南小中学校はプール一つだったが、小、